

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	長崎県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	福江市立緑丘小学校									
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級	計	教員数	
学級数	3	3	3	3	4	4	1	21	30	
児童数	120	116	108	112	135	130	2	723		

研究の概要

1. 研究主題

<p>自ら学ぶ子の育成 ～算数科を中心とした指導方法や指導形態の工夫と学習環境の充実～</p>

2. 研究内容と方法

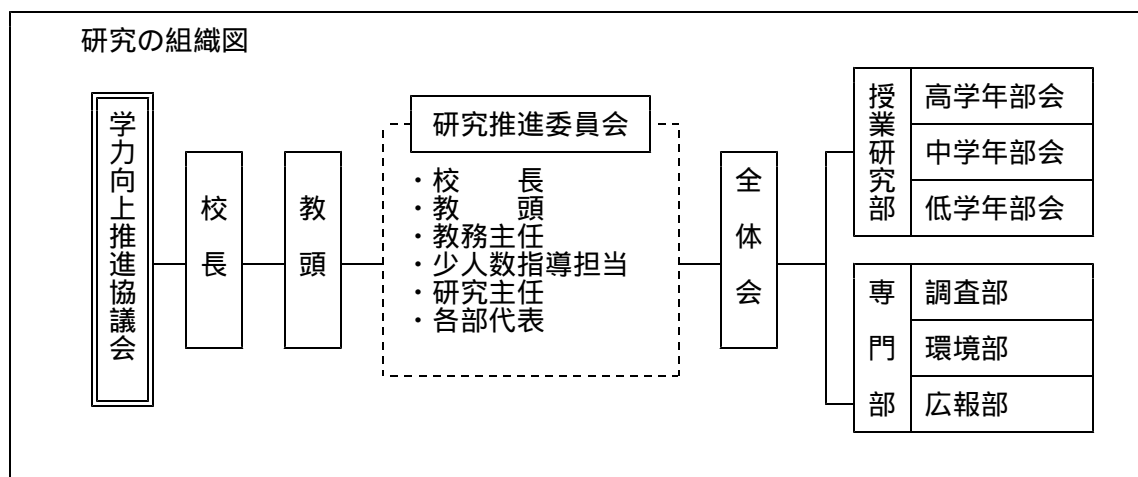
(1) 実施学年・教科

1～6年生 算数(子どもの理解度や定着度に差が生じやすい教科であるため)

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 自ら学ぶ子の育成 ～算数科を中心とした指導方法や指導形態の工夫と学習環境の充実～ 研究の見通し（仮説） 個に応じた指導のための指導方法や指導形態を工夫したり，学習環境を充実させたりすることによって，子ども一人一人が主体的に学習に取り組むとともに，学ぶ喜びと楽しさを感じ，確かな学力を身に付けるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 次の内容を研究し仮説を検証する</p> <table border="1"> <tr> <td>指導方法・指導形態の工夫</td> <td>学習環境の充実</td> <td>保護者との連携</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・TT，少人数指導 ・課題別学習，習熟度別学習 ・教材の開発 ・評価の在り方 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ学習環境の充実 ・学習規律の確立 ・読書タイムの設定 ・スキルタイムの設定 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・フロンティアだよりの発行 ・保護者の意見の取り入れ ・家庭学習の充実 </td> </tr> </table>			指導方法・指導形態の工夫	学習環境の充実	保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・TT，少人数指導 ・課題別学習，習熟度別学習 ・教材の開発 ・評価の在り方 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ学習環境の充実 ・学習規律の確立 ・読書タイムの設定 ・スキルタイムの設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・フロンティアだよりの発行 ・保護者の意見の取り入れ ・家庭学習の充実
	指導方法・指導形態の工夫	学習環境の充実	保護者との連携						
<ul style="list-style-type: none"> ・TT，少人数指導 ・課題別学習，習熟度別学習 ・教材の開発 ・評価の在り方 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ学習環境の充実 ・学習規律の確立 ・読書タイムの設定 ・スキルタイムの設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・フロンティアだよりの発行 ・保護者の意見の取り入れ ・家庭学習の充実 							
平成16年度	<p>テーマ 自ら学ぶ子の育成 ～算数科を中心とした指導方法や指導形態の工夫と学習環境の充実～ 研究の見通し（仮説） 個に応じた指導のための指導方法や指導形態を工夫したり，学習環境を充実させたりすることによって，子ども一人一人が主体的に学習に取り組むとともに，学ぶ喜びと楽しさを感じ，確かな学力を身に付けるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度の内容をさらに修正しながら実践を深化する。 ・2年間のデータの分析とまとめを行う。 								

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- スキルタイムについて（朝の活動：毎週木曜、金曜）
- ・短い時間でも有効に使って学習に取り組めるようになってきた。
 - ・復習として有効に活用できた。
 - ・単元によって、百マス計算が効果的であった。
 - ・群読の効果が、音読や読解に見られるようになってきた。
 - ・計算能力が底上げされてきた。
 - ・文章問題について、意識してよく読むようになってきた。
- 読書タイムについて（朝の活動：毎週水曜）
- ・読書をする習慣が身に付いてきており、自分から進んで本を読もうとする姿勢が見られるようになってきた。
 - ・短い時間ではあるが、集中して本を読むようになり、ちょっとした時間に本を読むこと（すき間読書）ができるようになってきた。
 - ・読書により、読み深める力が付いてきている。
 - ・忙しい中でも授業時間のちょっとした時間を使って図書室へ行き、本を借りるなど、読書タイムがあることを意識して図書室を活用するようになっている。
- 授業実践について
- ・発表など、子ども一人一人の活躍の場が増えた。
 - ・難しい問題になっても、諦めなくなってきた。
 - ・ノートに自分の考えを書けるようになってきた。
 - ・家庭学習で予習をしてくる子が増えてきた。
 - ・進んで質問をしてくる子どもが増えてきた。
 - ・振り返りカードを書かせることで、子どもの実態を把握することができた。

2. 今後の課題

- スキルタイムについて（朝の活動：毎週木曜、金曜）
- ・子どもの意欲を高めるようなプリント作り、また、子どもの個人差に応じたプリント作りをしていく必要性を感じる。
 - ・10分間という短い時間であり、時間内にできなかった子どもの採点や補充指導の時間がとれなかった。
 - ・スキルタイムが行事などの関係で定期的には実施できないこともあり、限られた時間を漢字と計算のバランスを考慮した計画を立てていく必要性を感じた。
- 読書タイムについて（朝の活動：毎週水曜）
- ・読書に親しむ子どもとそうでない子どもの差が大きくなっている。
 - ・子どもの興味や関心を考慮して、新しい本を購入していかなければならない。
 - ・市立図書館などを活用し、できるだけたくさんの本にふれることができる環境を作っていかなければならない。
- 授業実践について
- ・特に、単元の初めに細かな打ち合わせをする時間を確保しなければならない。
 - ・学年が同時進行なので、教材の使用が重なることがあった。

- ・少人数の中の個人差にどのように対応していくかが今後の課題である。
- ・個に応じたプリント作成（問題作り）を進めていかなければならない。
- ・担当していない子どもたちの学習状況（実態）を把握するために、個人カルテの充実を図ったり、教師間の情報交換の場を設けたりしていかなければならない。

学力等把握のための学校としての取組

- 「月末テスト」の実施
 - ・毎月末に漢字，計算の50問テストを行い，その月に学習した内容の理解度や定着度を見る。
- 「単元末テスト」の実施
 - ・学年により異なるが，主に国語，算数，理科とし，単元毎に学習内容の理解度や定着度を見る。
- 「市販の学力テスト」の実施
 - ・全校児童を対象に国語，算数，理科（3年生以上）の理解度や定着度を見る。
- 「算数に関する意識調査」の実施
 - ・年度初めと年度末に，算数に関する児童の意識調査を行う。
- 「学習アンケート」の実施
 - ・毎学期末に生活アンケートとあわせて，5項目の学習に関する振り返りを行う。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 公開授業・授業研究会（予定）
 - ・平成16年度
 - 6月 } 場所：福江市立緑丘小学校
 - 11月 } 日時：未定
 - 2月 } 対象：県内小中学校，本校児童保護者
- ホームページ
 - ・現在作成中
- パンフレット
 - ・現在作成中

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 ■ 15年度からの新規校 □ 14年度からの継続校
- 【学校規模】 □ 6学級以下 □ 7～12学級
 □ 13～18学級 ■ 19～24学級
 □ 25学級以上
- 【指導体制】 ■ 少人数指導 ■ T・Tによる指導
 □ 一部教科担任制 □ その他
- 【研究教科】 □ 国語 □ 社会 ■ 算数 □ 理科
 □ 生活 □ 音楽 □ 図画工作 □ 家庭
 □ 体育 □ その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 ■ 有 □ 無